

CASBEE 広島 2016年版
広島駅南口ビル新築他工事 南口ビル棟

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質								3.5	
Q1 室内環境					0.38		-	3.2	
1 音環境				2.4	0.15	4.0	1.00	2.5	
1.1 室内騒音レベル		N-30		3.0	0.40	5.0	0.40		
1.2 遮音				2.7	0.40	4.7	0.40		
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能T-2以上		3.0	0.86	5.0	0.30		
2 界壁遮音性能		D-50		1.0	0.14	4.0	0.30		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		LL-40		-	-	5.0	0.20		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		LH-45		-	-	5.0	0.20		
1.3 吸音				1.0	0.20	1.0	0.20		
2 温熱環境				3.3	0.35	3.0	1.00	3.3	
2.1 室温制御				3.7	0.50	3.0	0.50		
1 室温				3.0	0.45	3.0	0.57		
2 外皮性能				3.0	0.20	3.0	0.43		
3 ゾーン別制御性		空調系統の細分化、ゾーン別に冷暖切替可能		5.0	0.35	-	-		
2.2 湿度制御				3.0	0.20	3.0	0.20		
2.3 空調方式				3.0	0.30	3.0	0.30		
3 光・視環境				2.7	0.25	3.6	1.00	2.8	
3.1 昼光利用				2.5	0.51	4.2	0.30		
1 昼光率		各階居室T-1-5.00%		1.0	0.24	5.0	0.60		
2 方位別開口				-	-	-	-		
3 昼光利用設備				3.0	0.76	3.0	0.40		
3.2 グレア対策				3.0	0.10	3.0	0.30		
1 昼光制御				3.0	1.00	3.0	1.00		
3.3 照度		調光スイッチによる使い分けが可能		3.0	0.06	5.0	0.15		
3.4 照明制御				3.0	0.33	3.0	0.25		
4 空気質環境				3.8	0.25	3.6	1.00	3.8	
4.1 発生源対策				4.0	0.50	4.0	0.63		
1 化学汚染物質		内装仕上にはF☆☆☆☆品を採用する		4.0	1.00	4.0	1.00		
4.2 換気				3.0	0.30	3.0	0.38		
1 換気量				3.0	0.50	3.0	0.33		
2 自然換気性能				-	-	3.0	0.33		
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.50	3.0	0.33		
4.3 運用管理				4.5	0.20	-	-		
1 CO ₂ の監視		中央監視設備データを基にした、CO ₂ 換算計測を行っている		4.0	0.42	-	-		
2 喫煙の制御		全館禁煙としている		5.0	0.58	-	-		
Q2 サービス性能				-	0.30	-	-	3.8	
1 機能性				3.8	0.40	4.0	1.00	3.8	
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40	4.0	0.60		
1 広さ・収納性				-	-	3.0	0.50		
2 高度情報通信設備対応		Cat6対応ケーブルの採用		-	-	5.0	0.50		
3 バリアフリー計画		建築物移動等円滑化誘導基準を満たす		4.0	1.00	-	-		
1.2 心理性・快適性				4.0	0.30	4.0	0.40		
1 広さ感・景観				3.0	0.29	3.0	0.50		
2 リフレッシュスペース				3.0	0.20	-	-		
3 内装計画		建物全体のコンセプト、建物機能の明確化、インテリアパースの作成		5.0	0.51	5.0	0.50		
1.3 維持管理				3.5	0.30	-	-		
1 維持管理に配慮した設計		防汚性の高い建材の採用		4.0	0.50	-	-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50	-	-		
2 耐用性・信頼性				4.1	0.30	-	-	4.1	
2.1 耐震・免震・制震・制振				4.6	0.50	-	-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)		建築基準法の50%増の耐震性を有する		5.0	0.80	-	-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20	-	-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30	-	-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20	-	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20	-	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10	-	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管、排水管、通気管:B以上		4.0	0.20	-	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20	-	-		
2.4 信頼性				4.5	0.20	-	-		
1 空調・換気設備		熱源種の分散		4.6	0.20	-	-		
2 給排水・衛生設備		節水型便器の採用		5.0	0.20	-	-		
3 電気設備		発電機設備、蓄電池設備設置		5.0	0.20	-	-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20	-	-		
5 通信・情報設備		光ケーブル、蓄電池設備設置		5.0	0.20	-	-		

3 対応性・更新性			3.6	0.30	2.3	1.00	3.6
3.1 空間のゆとり			4.5	0.25	1.6	0.50	
1 階高のゆとり		1階～8階階高3.90m以上	5.0	0.56	2.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率0.11	4.0	0.44	1.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.25	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.6	0.50	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性		主要設備の更新ルートを確認	5.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保		配管展開スペース、機器更新通路利用	4.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.32	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		美観形成基準を満たす、植栽の設置	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			4.0	0.30	-	-	4.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		大屋根等の構造物は、折鶴をイメージした「折り」のデザイン、平和を象徴する「白系」の色彩を取り入れている	5.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.88	4.4	0.20	-	-	4.4
2 自然エネルギー利用		交通広場上部にアトリウム設置	4.0	0.10	-	-	4.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m]: 0.96	2.2	0.50	-	-	2.2
4 効率的運用			5.0	0.20	-	-	5.0
集合住宅以外の評価			5.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング		中央監視設備採用	5.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制		BEMS採用	5.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			-	-	-	-	
4.2 運用管理体制			-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.8
1 水資源保護			3.8	0.20	-	-	3.8
1.1 節水		自動水栓に加え、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.7	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無		雨水利用水槽の設置	4.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			4.0	0.60	-	-	4.0
2.1 材料使用量の削減		冷間成形角型鋼管におけるBCP使用	4.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用		既存躯体の利用	5.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		タイル(床材)、ビニル床材(床材)、押出法ポリスチレンフォーム(断熱材)	5.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		OAフロアの採用	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.5	0.20	-	-	3.5
3.1 有害物質を含まない材料の使用		防水工事のAsプライマー採用	4.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.3	0.70	-	-	
1 消火剤		不活性ガス消火剤を使用	4.0	0.33	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.33	-	-	
3 冷媒			3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO ₂ 排出率=96%	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			4.0	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減		指導要綱に基づく、雨水流出量の抑制を実施	4.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制		条例基準を満たす駐輪場、駐車場設置	5.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制		ゴミの正しい出し方表示設置	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33	-	-	3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			-	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策		チェックリストの過半を満たす、配慮事項の過半を満たす	5.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	